

家族会86年度方針決まる

一月二五日、県労働者福祉センターにおいて行われた家族会総会で、86年度の当面する活動方針が提案され、家族会の強化・発展、平和と民主主義を守り抜くために闘う、等を満場一致で採択し、動労千葉・家族会一丸となって闘うことを確認しました。

夫や息子の闘いを支える

家族会は、国鉄当局による国鉄労働者の家族のことなど一切考えない理不尽な攻撃に対して夫や息子の闘いを支えるとともに、自分達も労働者の妻として行動することを以下の通り決定しました。

1. 組織の強化・発展を実現します。
今こそ生活を守るため、自らがたちあがり、親組合との連携を密に自主的運営による組織強化をはかります。
親組合の行動への参加・交流会・レクリエーション等の実施により会員同士の親睦をはかります。
特に家族会未結成支部は、早期結成を実現します。
2. 平和と民主主義を守り、生活の向上をかちとります。
今日の情勢は福祉切り捨て、大型間接税導入の一方で、軍事費の1%枠突破等軍靴の響きが日々高まり、平和がおびやかされています。私達は、平和と暮らしを守るため、分割・民営化絶対反対、大幅賃上げ獲得、中曽根内閣打倒の闘いを親組合とともに闘いぬきます。
3. たたかう婦人との連帯・交流を深めます。
この間、家族会は親組合の行動に参加する中で三里塚の婦人行動隊、北富士忍草母の会、国労、動労水戸家族会、婦人民主クラブをはじめ、たたかう婦人との交流を深めてきました。家族会は、婦人の地位向上をはかる立場から、たたかう

婦人との連帯・交流を強化します。

以上が参加者の満場一致で採択され、動労千葉組合員、家族が一丸となって中曽根内閣や当局と対決し闘いぬくことを確認しました。

この間、中曽根内閣は「赤字の国鉄を再建する」と称して、「赤字」を国鉄労働者のせいにし、職場でのしめつけ、人減らし合理化を進め、反対する労働者には処分・賃金カット・人材活用センター送りなど、全く許せない攻撃をかけてきました。

このような攻撃こそ労働者を組合から切り離し、国鉄労働運動ひいては総評労働運動を解体し、戦争に協力する労働組合につくり変えようとする攻撃なのです。このようなことは絶対に許せません。今こそ家族がたちあがり、家族間の団結を打ち固め、親組合とともに闘いぬきましょう。

「おめでとうございます。これから分割・民営化反対で頑張りましょう。世の中を変えるのは女性の力です。」



写真は12・25千葉交流会において

● 婦人民主クラブ千葉支部準備会および婦人民主クラブ関西協議会より、心暖まる、激電をいただきました。